# <自己評価の結果・今後の課題について> 1学期

## I 幼児の発達の援助

- ・ 今年度より麻生幼稚園と統合し、現在幼児42名、職員10名である。一人一人の幼児が安心して園生活を送ることができるよう活動や環境構成などの配慮に努めている。職員の気持ちに余裕がなくなってしまうと幼児をせかしてしまうことにつながるため、気持ちにゆとりをもって保育に取り組んでいきたい。
- ・ 健康面では手洗いの習慣が身に付くように各年齢に応じて関わっている。衛生面だけでなく感染症予 防の面からも引き続き励行していきたい。身体を動かして遊ぶことも健康な体づくりには大切なため、 幼児が十分に身体を動かして遊ぶことができるように環境構成や援助などを工夫していきたい。
- ・ 1 学期は夏野菜を植え、収穫を楽しみにしながら世話をし、家庭や園で味わいながら食べる経験ができた。しかし、教師自身が野菜栽培への知識が浅く、子どもたちへの働きかけが十分ではなかったと反省する。今後は季節の野菜を栽培する中で教師自身も知識を深めたり、偏食の子どもが多いので、食べることへ興味がもてるように働きかけたりしていきたい。
- ・ 友達と一緒にやり遂げる達成感については、2・3学期の運動会や発表会などの経験を積み重ねる中で、育っていくよう関わっていきたい。
- ・ 身近な自然との触れ合いについては今後も教師自身が自然の変化を見逃さず、幼児に投げかけていけるようにしていきたい。園外保育に出かけ、自然と触れ合える機会もつくっていきたい。
- ・ 小動物や虫など興味を持つ幼児は多く、捕まえたり飼育したりして様子を観察している。捕まえて終わりではなく、生命の大切さに気付くことができるように教師も一緒に関わっていきたい。
- ・ 数量や図形・文字については一人一人の興味や関心がどこまであるのかを把握して、日常の中で触れ 合える環境を年齢に応じて取り入れていきたい。
- ・ 美しいものや感動する出来事などに機会を逃さずに触れることができるようにし、幼児と共感していくことができた。今後は幼児が心を動かすことができる機会を意図的につくっていけるようにしていきたい。
- ・ 幼児一人一人の健康状態を把握し、体調の変化に留意しながら保育をしている。幼児の家庭環境は様々であるため、今後は各家庭に合わせて幼児一人一人について保護者と連携をとりながら健康な生活リズムが身に付くように努めていきたい。

## Ⅱ 子育て支援

・ 送迎時に保護者と話すことができる機会を大切にし、子どもの様子や成長を伝え、共に喜ぶことができているのではないか。保護者との信頼関係を基盤に、不安や悩みにも寄り添っていけるようにしたい。

## Ⅲ 連携

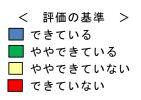
- ・ 今年度は宮内小学校・麻生小学校・砥部小学校の砥部町3校の授業参観をさせていただいた。また、 宮内小学校とは年度初めに1年間の交流計画について話し合い、1学期は1年生と楽しく交流活動がで きた。2学期以降も交流をし、連携を図っていきたい。
- ・ 隣の宮内保育所が閉所し、保育所の友達との自然な交流ができなくなり残念である。今後は近くにある保育園との交流の機会があればと感じている。

### IV 保育に当たっての留意事項

・ 自分の保育の課題を見つけ、日々の保育を見直す機会を大切にしていきたい。今後も研修会に積極的 に参加して自己研鑽し、保育の質の向上に努めていきたい。

# 1 自己評価

# (1) 1学期の結果



番通	自	己	評値	価	番	6 7 5 W F B							
号し	対	象	分	類	号		0%	20%	40%	60%	80%	100%	
1				(1)	1	幼児が喜んで登園するために、その日の活動や環境整備などの配慮をしている							
2			安	情緒		幼児が何を求めているか、いつも思いをめぐらせている							
3				の	3	幼児一人一人にわかりやすい温かな言葉で話しかけ、せかす言葉や制止 する言葉を不必要に用いないようにしている							
4				1	1	十分に身体を動かせるよう、時間と場所を確保し、幼児の動線に沿った 環境の構成をしている							
5				健	2	戸外での活動後の手洗いやうがい、食事の前や排泄後の手洗いなど、清 家の翌慣が身につくよう指導している							
6				康	2	食べ物に興味・関心をもつよう働きかけたり、収穫を楽しみに栽培活動 に取り組んだりして食育に心がけている。							
7				2	1	自分でできた、という充実感を味わえるような体験のできる活動を取り 入れている							
8	Ι			人間	2	つまずきや葛藤、けんかなどが、幼児の育ち(発達)に欠かせないものとして捉え、対処している							
9	幼	1	(2)	関 係	3	友達と一緒に一つのことをやり遂げることにより、達成感が味わえる機 会をつくっている							
10	児	ね	保		_	身近な自然を通してその美しさ不思議さなどに気づくよう、幼児と自然 との触れ合いを大切にしている							
11	တ	ら	育			幼児が身近な動植物の世話をするなかで、生命の大切さに気づくよう、 働きかけている							
12	発	い	内	境	3	生活の中で、数を数えたり、形を意識するなどして、数量や図形、簡単な標識や文字などに興味や関心をもつよう工夫している							
13	達	ح	容		<b>(1</b> )	1	幼児が見たこと、聞いたこと、感じたことなどを、その子なりの言葉で 表現する機会を大切にしている						
14		内		言	2	人の話を聞くことの大切さに気づくよう、働きかけている							
15	援			葉	3	絵本や紙芝居の読み聞かせをする時、言葉の楽しさや美しさに気づくよ う、心がけている							
16	助			(5)		歌ったり、踊ったりして、音や動きの楽しさに気づき、楽しめるよう、 援助している							
17	뫼			表	2	美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにできるような 機会をつくっている							
18				現	2	幼児がいろいろな素材に触れ、親しみ、イメージを豊かにもてるよう、 配慮している							
19				(3) 蛙	1	園での生活の仕方について、支援の必要な幼児の特性に合わせた計画を 立てた保育を行っている							
20			教育	別		特別支援教育について実態把握を行い、それをもとに園全体で話し合う 機会を持つよう配慮している							
21				支 援	3	支援の必要な幼児の保護者と話し合う場を設け、支援を心がけている。							
22			人	(4) 幼		子どもの人権への配慮や、互いを尊重する心を育てるために、具体的に 取り組んでいる							
23			権		2	「それは男(女)の子の…」などと、行動や態度、遊び、服装、持ち物などについて、性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している							

番通号し			 評価 分類		自己評価項目	0%	20%	40%	60%	80%	100%
24	<u></u>		<u>// 及</u> (1) 指	1	指導計画は、長期的な計画と具体的な短期の計画を関連させるとともに、幼児の興味・関心や意欲に合わせて活動が展開できるよう作成している						
25	Ι		作 導 成 計	2	幼児の活動の展開に合わせて、援助の仕方が具体的に指導計画に書き込まれている						
26	幼	2	画の	3	自分の具体的な援助について反省・評価し、それを次の計画作成にいかしている						
27	児	幼児	録(2) の保	1	保育記録が、幼児の発達援助に必要であることを理解し、幼児一人一人の発 達理解にいかしている						
28		の	作育 成記	2	その日にあった出来事や気になる幼児の様子などを、その幼児にかかわる他 の職員と共有している						
29		達	(3)	1	幼児一人一人の日々の健康状態を把握して、保育をしている						
30		援助	健康管	2	幼児が落ち着いて食事を楽しめるよう雰囲気づくりなどを工夫している						
31	達	留	理	3	家庭では、十分に睡眠をとるなどして健康な生活リズムを身に付けるよう、保護者への啓発に努めている						
32	の	意事	(4) 環保	1	季節に合わせて、保育室の環境に工夫をしている						
33	援	項	境育	育 2	必要な遊具・用具などを、動線に沿って配置するなど工夫し、幼児の興味に合わせて好きな遊びが展開できるよう配慮している						
34	助		(5) 管 中	1	施設・設備・遊具の安全に関する点検をマニュアルに沿って行っている						
35			(5) 管安 全	2	災害時や不審者が園内に侵入した際に安全に避難できるようにするために、 自分がどのように対応するのかを理解している						
36	<u> </u>	Ι		1	送迎の際に、保護者と、わずかな時間でも必ず会話をするようにしている						
37		子育	<u> </u>	2	保護者からの相談内容などを、担任一人の問題にしないで、園全体で受け止めようとしている						
38		て 支		3	保護者と直接話す機会がないときでも、連絡帳などを積極的に活用するなどして、保護者とのコミュニケーションを図ろうと努力したり、幼児の姿を伝えたりして、子育ての喜びを共有するよう努めている						
39		扬	曼	4	子育てに不安をもつ保護者の相談相手になり、共に乗り越えていくことができるよう子育ての支援をするよう心がけている						
40		連	と と 地	1	園の周辺の住民と良好な関係を築けるよう、日常的なあいさつを心がけている						
41	Ш	携	の域	2	幼児が、行事や園外保育などを通して、地域の文化や伝統に十分触れて、豊かな体験をすることが大切であることを理解して、取り組んでいる						
42	連	連	2 と小	1	幼稚園教育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることを理解している						
43	携	携	の 学 校	2	小学校の授業を見学したり幼稚園の保育を見てもらったりして、小学校の教師と教育のあり方について話し合う機会をもっている						
44			上 育 3 D 所 保		保育所の幼児との交流を計画的に行い、同じ地域の幼児同士が、共通の経験を重ねることの意味を理解し、互いが親しくなれるよう配慮している						
45			IV 保	1	保護者に、園の教育理念、基本方針、教育課程などを正しく伝えることができる						
46			育 に	2	自分の保育の課題を、客観的に見つける手段をもっている						
47			当 た	3	遊びにおける指導では、教師として、理解者、共同作業者など様々な役割を 果たしている						
48		項	って	4	同僚との間で、質問をしたり意見を交わしたりできるような、良好な関係を築い ている						
49		の 留		5	研修に参加したり専門書を読んだりして、保育にかかわる様々な知識や技能 の向上に努めている						
50			意 事	6	職務上知り得た子どもに関する情報について、たとえ自分の家族や友人にでも、話さないようにしている						

# <自己評価の結果・今後の課題や改善点について> 3学期

### I 幼児の発達の援助

- ・ 今回の自己評価では前回(7月)に比べ、職員自身が「できている」「しようとしている」と感じている項目が増えた。幼児との信頼関係のもと、一人ひとりに合わせた関わりを心掛け、余裕をもって保育にあたることができたのではないだろうか。
- ・ 2学期以降、幼児がいろいろな活動や行事を経験する中で、身近な自然やいろいろな素材に触れたり、 文字や数量・図形に興味や関心をもったり、歌や踊りを楽しんだりできるように働きかけていくことが できた。また、幼児同士のトラブルも幼児の育ちに欠かせないものであると捉え、一人ひとりに関わる ことができた。
- ・ 栽培活動を行い、季節の野菜や花を育てる経験ができた。いろいろな野菜の栽培に挑戦したが、植えた後の世話が不十分で、収穫できないこともあった。幼児が野菜に興味や関心をもって世話したり、収穫や食べることを楽しみにしたりできるよう、しっかりと計画を立て、野菜への知識を深め、栽培活動に取り組んでいきたい。

### Ⅱ 子育て支援

- ・ 定期的にクラス便りを発行したり、参観日を計画したりしながら園での様子の発信を行った。また登 降園を利用したり、個人懇談を行ったりして保護者と話し合う場を大切にし、子育ての悩みや喜びを共 有し合うよう努めた。
- ・ 保護者と一人ひとりの幼児の成長したことや課題を話しているが、保護者にもいろいろな考えが あ り、それぞれに家庭の状況が違うため、理解や協力を得たいことが伝わらないなど伝え方の難しさを感じている。

#### Ⅲ 連携

- ・ 地域の方のご厚意によりサックスの生演奏を聞いたり、芋ほりをさせていただいたり、ハートピアみなみの方と交流したりし、幼児の豊かな感性の育ちにつながる貴重な機会を楽しむことができた。
- ・ 今年度は宮内小学校と交流する機会が多く、幼児が小学校に行き、小学生と一緒に活動する経験ができたことがとてもよかった。また、麻生小学校の秋ランドに招待していただき、交流をすることができた。麻生校区の保護者から「来年度も麻生小学校との交流をお願いしたい」との意見があった。今年度のような交流活動が楽しめるように引き続き連携を図っていきたい。
- ・ アイグラン保育園宮内とは昨年度までの宮内保育所と行ってきた交流はできなかったが、宮内小学校で一緒に交流したり、芋ほりを一緒にしたりし、共に活動することができた。このような機会を来年度もつくっていきたい。

#### IV 保育に当たっての留意事項

・ 毎日の保育の振り返りを大切にし、幼児に必要な経験や育ちを考えた保育を日々行うことができるよう、さらに自己研鑽し、自分自身の保育の質や技能向上に努めていきたい。

# (2) 3学期の結果



番通 [	自己付象	已評 总分	価類	番号	自己評価項目 0%	20%	40%	60%	80%	100%
1			(1)		幼児が喜んで登園するために、その日の活動や環境整備などの配慮をしている					
2			情 緒	2	幼児が何を求めているか、いつも思いをめぐらせている					
3			の	3	幼児一人一人にわかりやすい温かな言葉で話しかけ、せかす言葉や制止 する言葉を不必要に用いないようにしている					
4			① 健		十分に身体を動かせるよう、時間と場所を確保し、幼児の動線に沿った 環境の構成をしている					
5			Æ	2	戸外での活動後の手洗いやうがい、食事の前や排泄後の手洗いなど、清 潔の習慣が身につくよう指導している					
6			康	3	食べ物に興味・関心をもつよう働きかけたり、収穫を楽しみに栽培活動 に取り組んだりして食育に心がけている。					
7	]		② 人	1	自分でできた、という充実感を味わえるような体験のできる活動を取り 入れている					
8		(0)	間関	2	つまずきや葛藤、けんかなどが、幼児の育ち(発達)に欠かせないものとして捉え、対処している					
		(2)		3	友達と一緒に一つのことをやり遂げることにより、達成感が味わえる機 会をつくっている					
ر 10	己不	保	3	1	身近な自然を通してその美しさ不思議さなどに気づくよう、幼児と自然 との触れ合いを大切にしている					
-		育	境		幼児が身近な動植物の世話をするなかで、生命の大切さに気づくよう、 働きかけている					
12 3				3	生活の中で、数を数えたり、形を意識するなどして、数量や図形、簡単な標識や文字などに興味や関心をもつよう工夫している					
13 j	لغ ≢	容	4		幼児が見たこと、聞いたこと、感じたことなどを、その子なりの言葉で 表現する機会を大切にしている					
14 0	D 内	3	言葉		人の話を聞くことの大切さに気づくよう、働きかけている					
15 <u>‡</u>	爰容	\$			絵本や紙芝居の読み聞かせをする時、言葉の楽しさや美しさに気づくよう、心がけている					
16	b		⑤	ı	歌ったり、踊ったりして、音や動きの楽しさに気づき、楽しめるよう、援助している					
17			表現	2	美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにできるような 機会をつくっている					
18				ა	幼児がいろいろな素材に触れ、親しみ、イメージを豊かにもてるよう、配慮している					
19		址	(3) 特		園での生活の仕方について、支援の必要な幼児の特性に合わせた計画を 立てた保育を行っている					
20		育	特別支		特別支援教育について実態把握を行い、それをもとに園全体で話し合う機会を持つよう配慮している					
21			援	3	支援の必要な幼児の保護者と話し合う場を設け、支援を心がけている。					
22		人	(4) 幼 旧	1	子どもの人権への配慮や、互いを尊重する心を育てるために、具体的に 取り組んでいる					
23		惟	児 の	2	「それは男(女)の子の…」などと、行動や態度、遊び、服装、持ち物などについて、性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している					

番通号し	自対	己	評価 分類	番号	自己評価項目	0%	20%	40%	60%	80%	100%
24			(1) 指	1	指導計画は、長期的な計画と具体的な短期の計画を関連させるとともに、幼児の興味・関心や意欲に合わせて活動が展開できるよう作成している						
25	Ι		作 導 成 計	2	幼児の活動の展開に合わせて、援助の仕方が具体的に指導計画に書き込まれている						
26	幼		画の	3	自分の具体的な援助について反省・評価し、それを次の計画作成にいかして いる						
27	児	幼児	録 (2) の 保	1	保育記録が、幼児の発達援助に必要であることを理解し、幼児一人一人の発 達理解にいかしている						
28	<sub>ග</sub>		作育 成記	2	その日にあった出来事や気になる幼児の様子などを、その幼児にかかわる他の職員と共有している						
29		達	(3) 健	1	幼児一人一人の日々の健康状態を把握して、保育をしている						
30		助	康管	2	幼児が落ち着いて食事を楽しめるよう雰囲気づくりなどを工夫している						
31	達	留	理	3	家庭では、十分に睡眠をとるなどして健康な生活リズムを身に付けるよう、保護者への啓発に努めている						
32	の	意事	(4) 環境 育	1	季節に合わせて、保育室の環境に工夫をしている						
33	援	· 項	境育	2	必要な遊具・用具などを、動線に沿って配置するなど工夫し、幼児の興味に合わせて好きな遊びが展開できるよう配慮している						
34	助		(5) 管安	1	施設・設備・遊具の安全に関する点検をマニュアルに沿って行っている						
35			官安 理全	2	災害時や不審者が園内に侵入した際に安全に避難できるようにするために、 自分がどのように対応するのかを理解している						
36		Ι		1	送迎の際に、保護者と、わずかな時間でも必ず会話をするようにしている						
37		子育		2	保護者からの相談内容などを、担任一人の問題にしないで、園全体で受け止めようとしている						
38		て 支	て <b>を</b>	3	保護者と直接話す機会がないときでも、連絡帳などを積極的に活用するなどして、保護者とのコミュニケーションを図ろうと努力したり、幼児の姿を伝えたりして、子育ての喜びを共有するよう努めている						
39		扬		4	子育てに不安をもつ保護者の相談相手になり、共に乗り越えていくことができるよう子育ての支援をするよう心がけている						
40		連	と の 域	1	園の周辺の住民と良好な関係を築けるよう、日常的なあいさつを心がけている						
41	Ш	携		2	幼児が、行事や園外保育などを通して、地域の文化や伝統に十分触れて、豊かな体験をすることが大切であることを理解して、取り組んでいる						
	連携		2 と小	1	幼稚園教育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることを理 解している						
43			の 学 校	2	小学校の授業を見学したり幼稚園の保育を見てもらったりして、小学校の教師と教育のあり方について話し合う機会をもっている						
44		隽 0	と育 3 り所 保	1	保育所の幼児との交流を計画的に行い、同じ地域の幼児同士が、共通の経験を重ねることの意味を理解し、互いが親しくなれるよう配慮している						
45			IV 保	1	保護者に、園の教育理念、基本方針、教育課程などを正しく伝えることができる						
46			育 に	2	自分の保育の課題を、客観的に見つける手段をもっている						
47			当 た	3	遊びにおける指導では、教師として、理解者、共同作業者など様々な役割を 果たしている						
48		<b>7</b> 2	つ て	4	同僚との間で、質問をしたり意見を交わしたりできるような、良好な関係を築い ている						
49			の 留	5	研修に参加したり専門書を読んだりして、保育にかかわる様々な知識や技能 の向上に努めている						
50			意 事	6	職務上知り得た子どもに関する情報について、たとえ自分の家族や友人にで も、話さないようにしている						